

現地視察資料

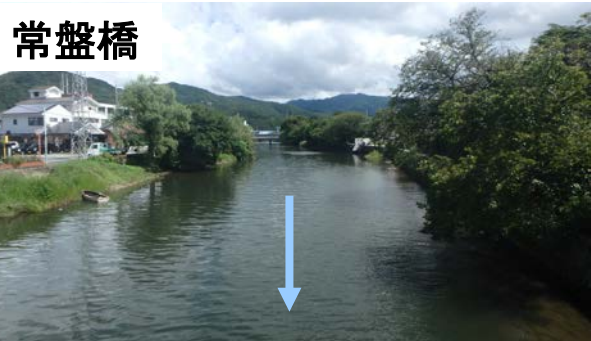
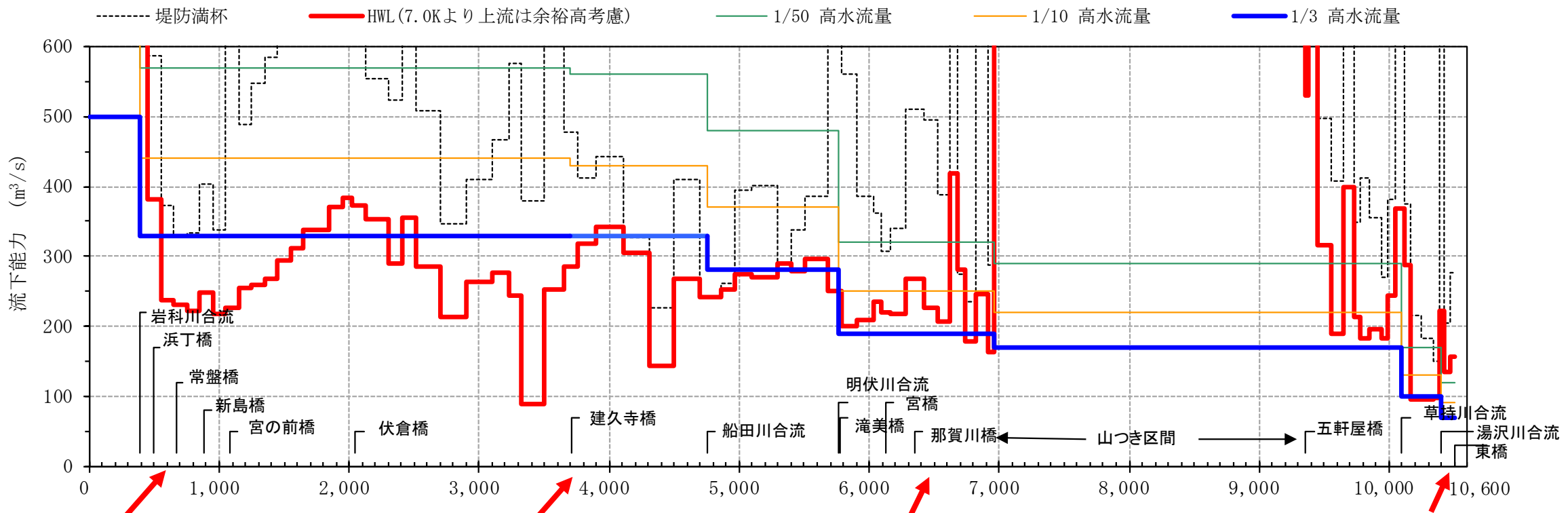
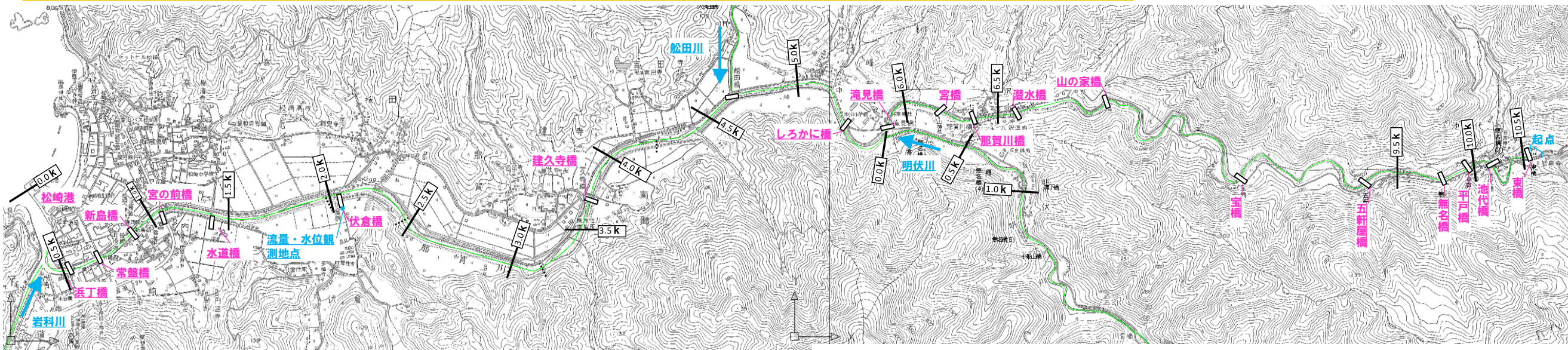
令和3年1月26日

静岡県下田土木事務所



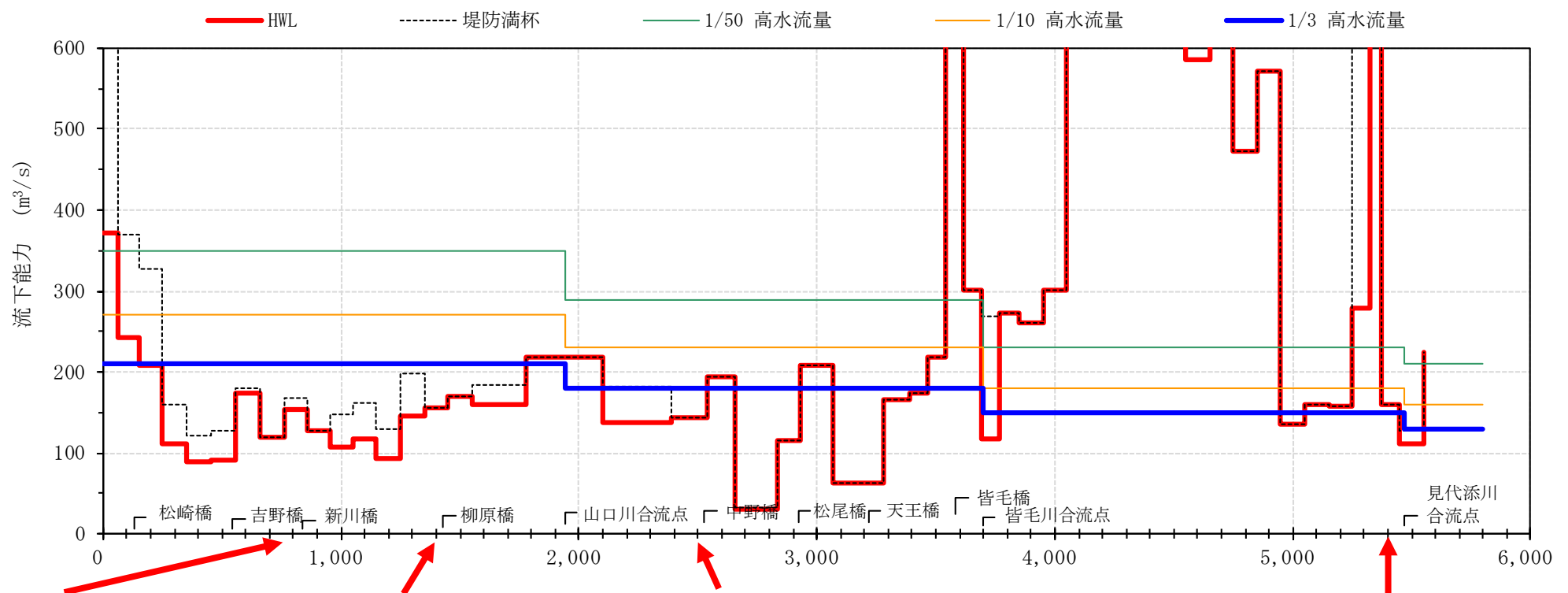
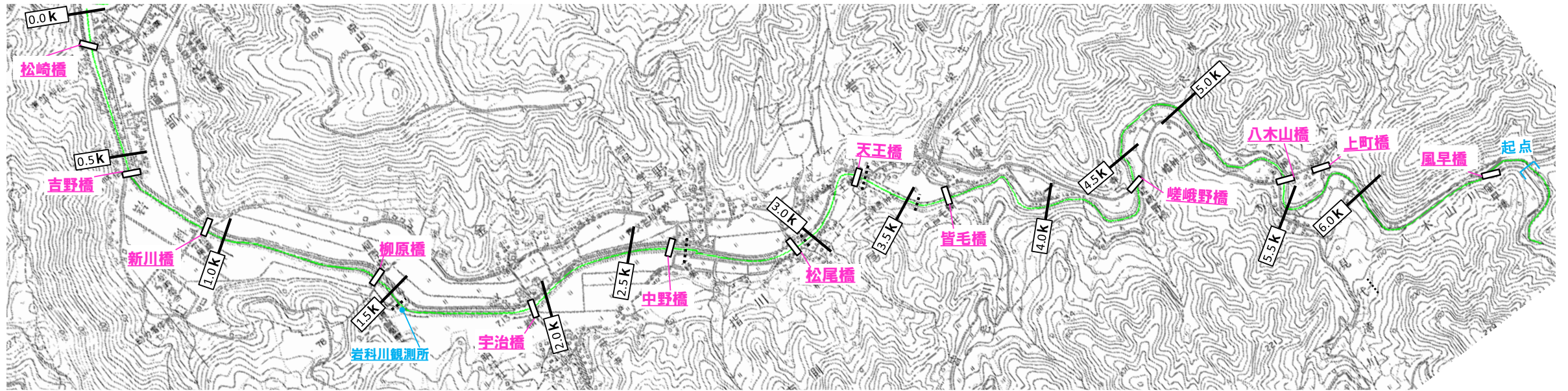
那賀川の流下能力

那賀川の現況河道流下能力は山付き区間を除き、全般にわたって確率規模3年以下と評価されます。



岩科川の流下能力

那賀川と同様に、岩科川の現況河道流下能力は全般にわたって確率規模3年以下と評価されます。



主要地点 - 那賀川 -

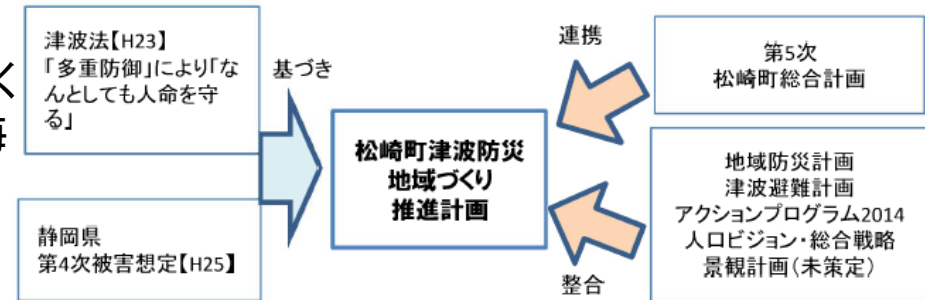
① 河口付近 津波水門建設予定地



レベル1の堤防高は、T.P.11.0m必要ですが、松崎町では、景観等に配慮し、現在の堤防高6.0mから1.5m嵩上げした**T.P.7.5mの水門を整備**することを「松崎町津波防災地域づくり推進計画」計画で位置付けています。

※「松崎町津波防災地域づくり推進計画」(R2.5)・・・
松崎町では、「津波防災地域づくりに関する法律」に基づき、南海トラフ巨大地震によって発生が予想されている津波被害の防止・軽減を図ることを目的とした計画

【推進計画の位置づけ】



出典: 松崎町津波防災地域づくり推進計画

水門建設予定地付近



防波堤



河口付近



河口から上流をのぞむ

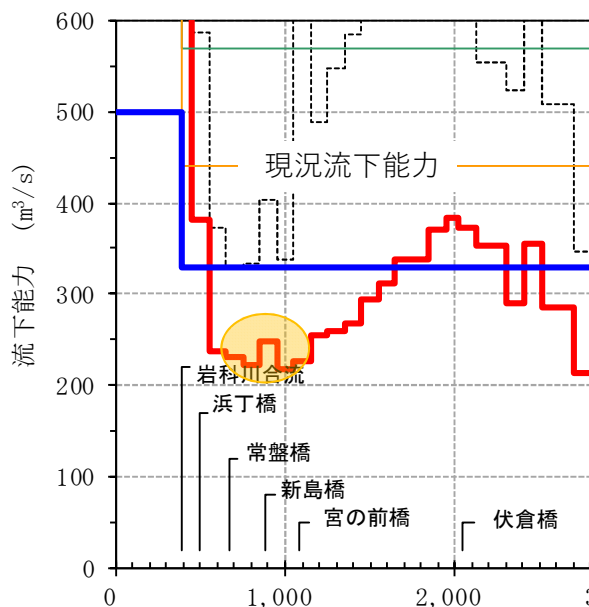


主要地点 - 那賀川 -

②0.5K~1.0K(浜丁橋~新島橋)付近



流下能力が不足しているとともに、川のりの生息地でもある地点です。また、浜丁橋付近には、伝統的な「なまこ壁」を取り入れた家屋が並んでおり、拡幅を伴った河川整備が困難な地点です。



松崎町環境保全モデル地区



新島橋より上流



新島橋より下流



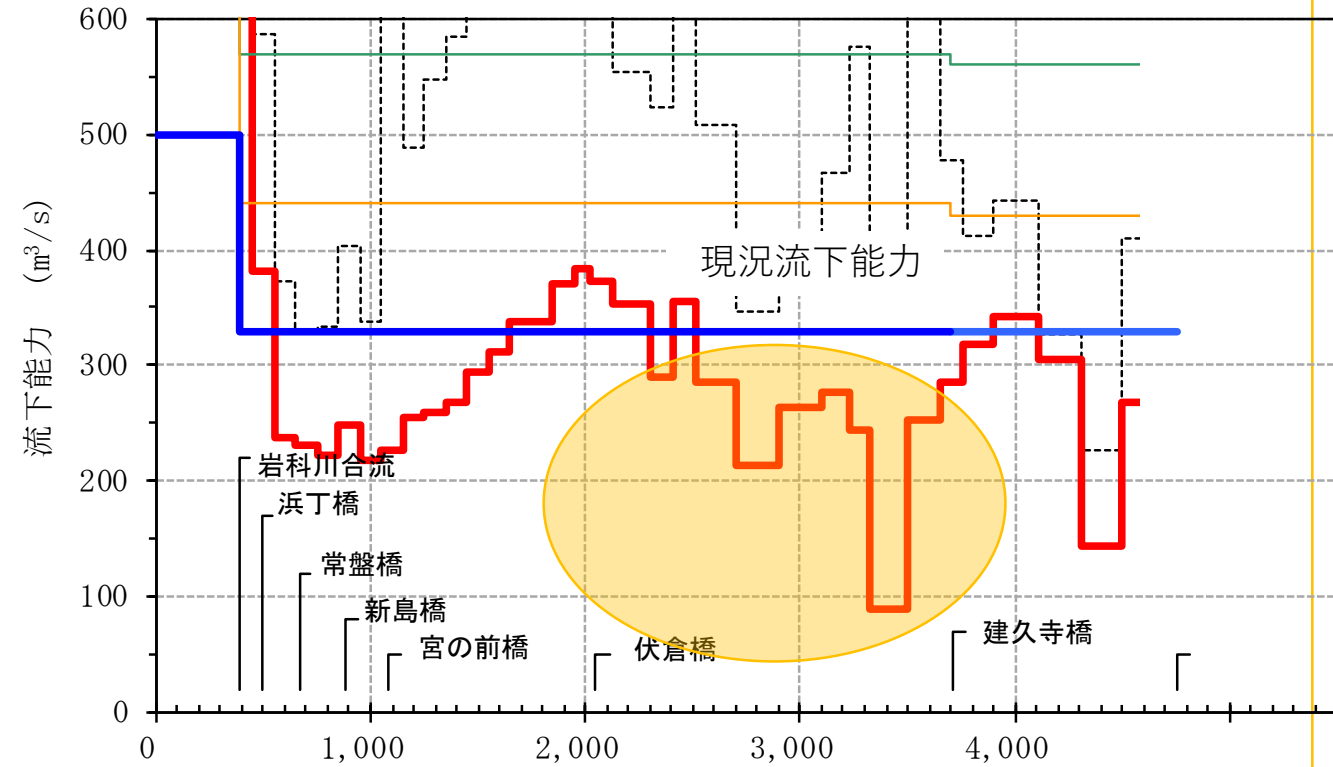
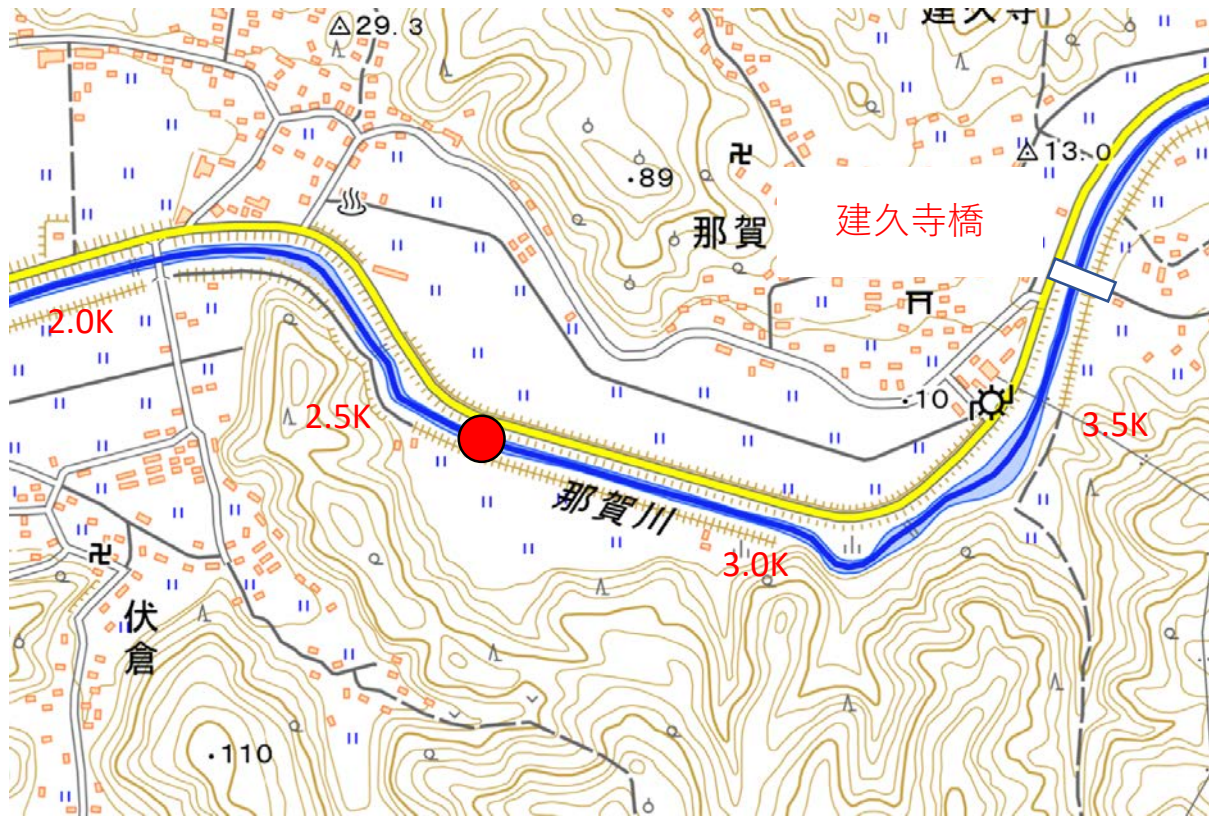
浜丁橋より下流



主要地点 - 那賀川 -

③ 2.5K～3.5K付近

2.5K付近は、**河川環境が良い**地点ですが、**流下能力が不足**している地点でもあります。



2.5K付近



2.5K付近



建久寺橋より下流



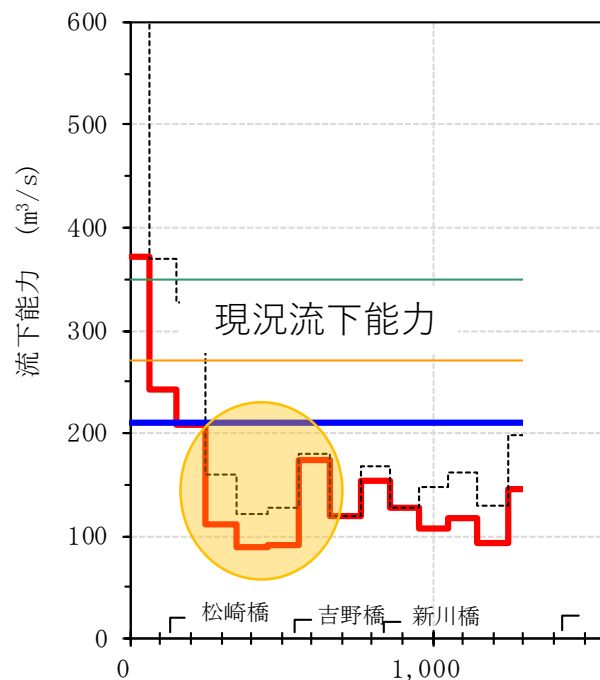
主要地点 -岩科川-

④0～0.5K(松崎橋～吉野橋)K付近



岩科川0-0.5K付近は、家屋連担区間で堤防高不足により、**流下能力が不足**している地点です。
また、**川のりの生育範囲**でもあり、河川環境に配慮する必要がある地点でもあります。

松崎橋より上流



松崎橋より上流 (左岸側拡大)



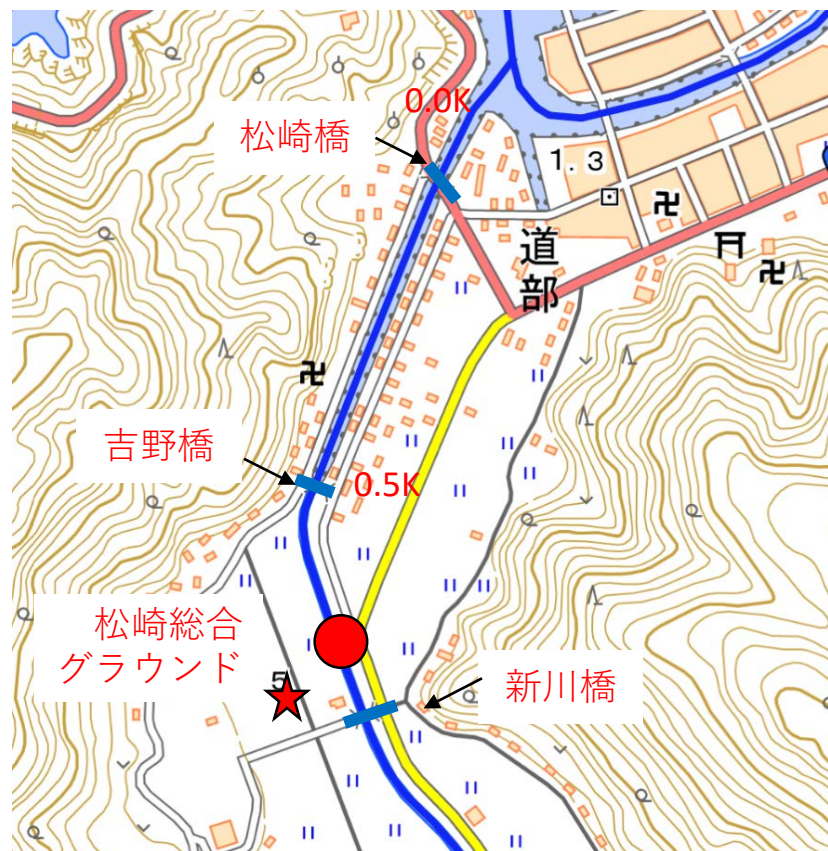
松崎橋より上流 (左岸側拡大)



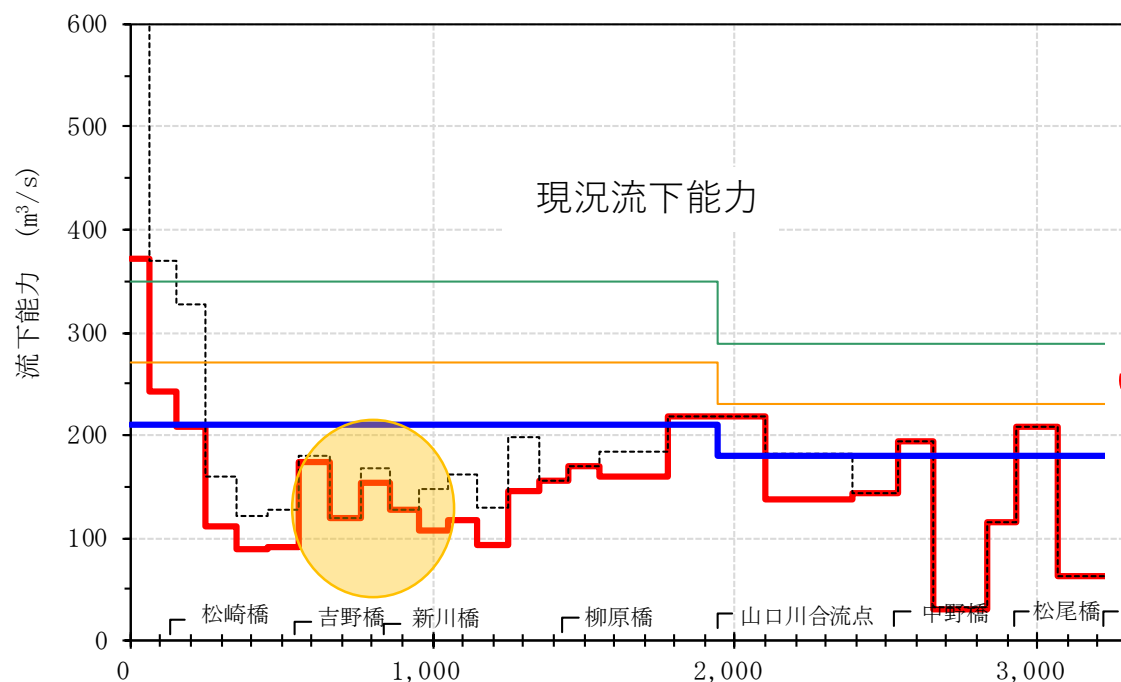
主要地点 -岩科川-

⑤0.5K~0.7K(吉野橋~新川橋)付近

岩科川0.7K付近は、右岸側に道路、左岸側に家屋や遊歩道があるため、堤防高不足により、**流下能力が不足**している地点です。



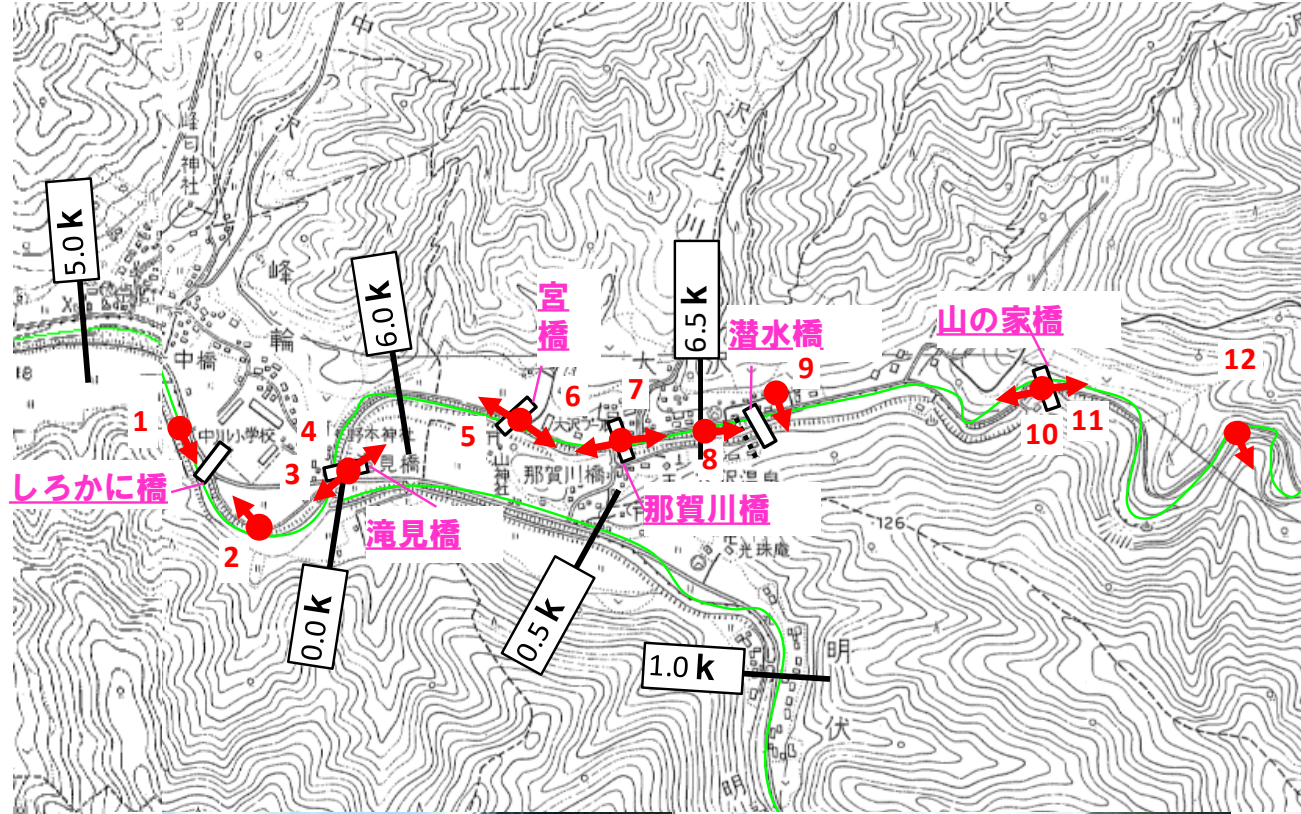
町村合併二十五周年記念
(昭和55年)により造られた遊歩道



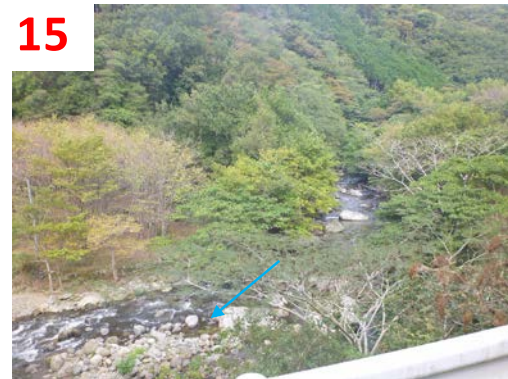
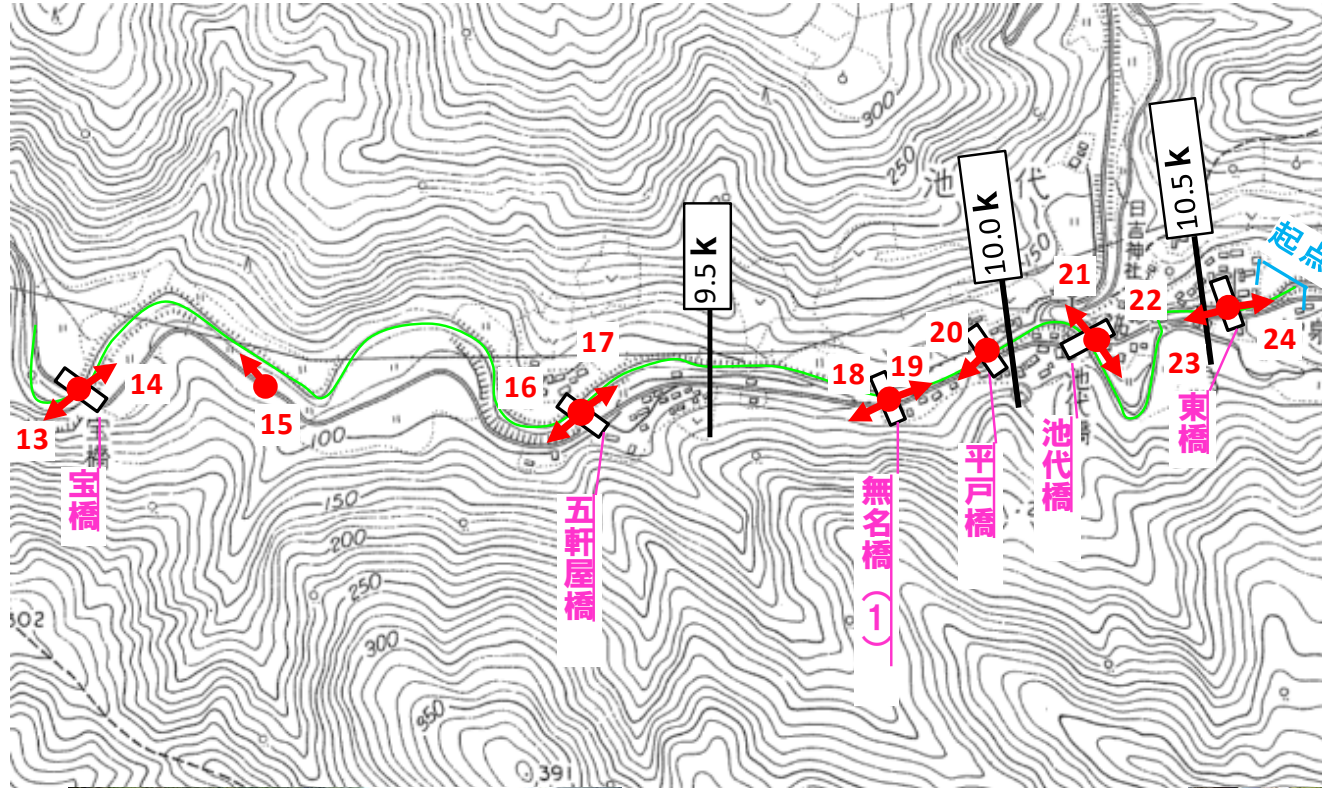
新川橋より下流



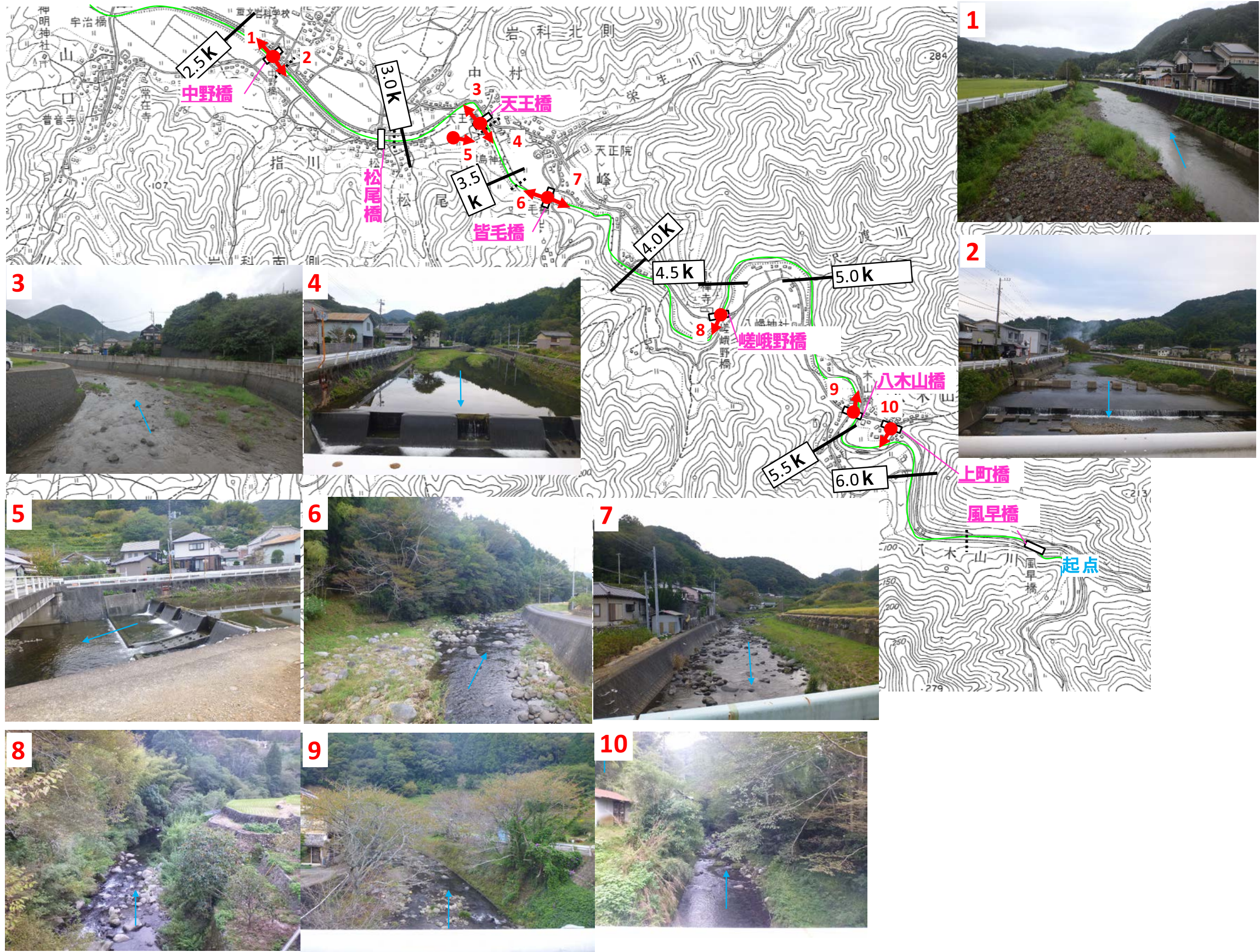
那賀川中流部



那賀川上流部



岩科川上流部



船田川



明伏川

